

事業名	快適環境創造事業費		調書番号	54
細事業名	環境パートナーシップやまなし負担金	財務コード	275209	
担当部課室	森林環境 部 森林環境総務 課 育水・環境活動推進 担当 (内線) 6091			

事業の概要			
実施期間	始期 H14 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(環境パートナーシップやまなし)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	県民、民間団体、企業	各運動への参加を通して自らの生活行動を見直し、環境に優しいライフスタイルへの転換が図られている	日常的・自主的な環境保全活動の実践
内容 (H28実績)	<p>事業概要</p> <p>行政機関、企業、民間団体、個人で構成される環境パートナーシップやまなしに対する負担金の支出。 ・負担金の相手先: 環境パートナーシップやまなし(構成: 行政機関、企業、民間団体、個人等) ・負担金内訳: 県 135,000円 市町村 5,000円 (会費: 企業・団体 5,000円 個人 500円)</p> <p>「環境パートナーシップやまなし」が実施している主な事業 環境保全活動にかかる企業、民間団体、行政機関、個人のネットワークづくりや地域に根ざした活動団体を育成</p> <p>1 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進・温暖化対策 ・「エコライフお絵かき・川柳コンテスト」 ・県民の日の出展・パレード活動</p> <p>2 各団体との連携 ・機関誌「きれいな甲斐」の発行 ・やまなし環境活動推進ネットワークフォーラムの開催(年1回)</p> <p>3 県等との連携 ・やまなしエコライフ県民運動・やまなしクリーンキャンペーン・山梨県交通対策推進協議会への参画他</p>		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)									
区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
活動指標	目標			年4回 900箇所 50人	年4回 950箇所 60人	年4回 950箇所 60人	年4回 950箇所 100人	年4回 950箇所 100人	年4回 950箇所 100人
	実績(見込)	年4回 150人	年4回 883箇所 100人	年4回 904箇所 130人	年4回 913箇所 100人	年4回 915箇所 100人	(年4回) 915箇所 (100人)		
	達成率								
	達成区分								
成果指標	目標			100% 絵 470点	100% 絵 410点 川柳 50点	100% 絵 400点 川柳 200点	100% 絵 310点 川柳 330点	100% 絵 310点 川柳 330点	100% 絵 310点 川柳 330点
	実績(見込)	絵 464点	76.7% 絵 468点	80.9% 絵 390点	78.7% 絵 332点 川柳 188点	84.7% 絵 307点 川柳 325点	73.5% 絵 243点 川柳 373点		
	達成率								
	達成区分								
決算(予算) 単位:千円		135	135	135	135	135	135	135	135

事業の評価(平成28年度の業績評価)		
活動指標	b	従来の活動内容に加え、平成28年度はエコライフお絵かき・川柳コンテストの甲府市立小学校分について、全児童数を配布することで、参加者の更なる拡大を図った。
成果指標	b	<p>県政モニターによる「廃棄物(ごみ)に関するアンケート調査」では「商品購入の際、ごみが少ない商品や使い捨てでない商品を選んで購入している」人の割合が84.7%と前年度を上回る結果となり、県民のごみの減量化や3Rに対する意識は高まっている傾向にある。</p> <p>エコライフお絵かき・川柳コンテストの応募数について、少子化の影響により応募数が減少傾向にある中、一部の小学校について全児童分の資料を配布するなど参加者の拡大を図り、前年度を上回る応募数を確保することができた。</p>

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)	
県関与の必要性	判定 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	<p>説明</p> <p><input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている</p> <p><input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている</p> <p><input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p>
	<p>説明</p> <p>各団体・企業・県民が個別に環境保全活動を行う中で、協議会での事業は県と民間とをつなぐ中核をなしており、子供から大人まで多くの県民への啓発につながっている。このようなネットワークを結成している組織は県内で他に例がなく、県としても引き続き関与していく必要がある。</p>
有効性(成果向上)	判定 <input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	<p>説明</p> <p>成果指標は増加傾向にあり、今後も継続して事業を推進することで、より多くの県民の環境保全意識の高揚が期待できる。</p>
見直しの余地	判定 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	<p>説明</p> <p><input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある</p> <p><input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある</p> <p><input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある</p> <p><input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p>
見直しの必要性	<p>有</p> <p>平成27年度からコンテストに新設した川柳部門では、応募数が1年で倍増するなど、事業目的である県民へのごみの減量化や3Rに対する意識の浸透が図られている。今後も配布対象の拡大等、更なる応募数の増加を図る。</p>

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)	
実施方法等の変更	<p>説明</p> <p>これまで保育園や小中学校、絵画教室、会員企業・団体等に資料配布を行ってきたが、大型商業施設などへポスター及び応募用紙を設置してもらうよう交渉するなど、更なる応募数の増加を図る。</p>
<p>・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しが無い場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。</p>	